

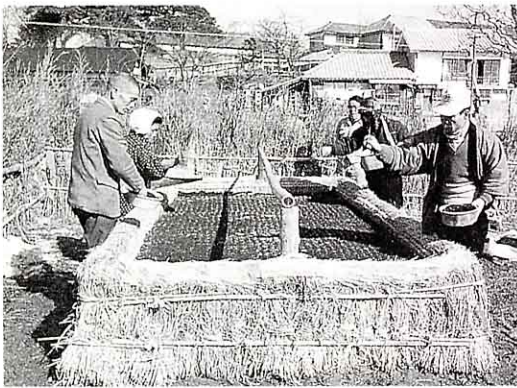
やない
箭内さんのおじいさんのお話 (昔の葉たばこ作り)



わしがいっしょうけんめい働いていた昭和30年ころは、何もかもが手作業でたいへんだったわい。

たばこ畑を作るにもぞうきばやし雑木林を切りひらいてね。木の根をクワでひとつひとつ起こさなくちゃならないんだから、その苦勞と言ったら…。手にいっばいマメをこさえてない。

葉たばこのタネをまくのもひと苦勞だったね。いっしょうけんめいおやどこ親床を作ってね。そこに目に見えないくらいのタネをまくんだよ。しばらくすると芽が出てくるはずなん



葉たばこのたねまき
(1955年=昭和30年ころ)

だけれど、いくら待っても芽が出てこないことが、しょっちゅうあったね。そんなことになると、一年がもう終わりだわい。

うね立てもクワでやったね。クワをふるうと土が生きかえるようで、とても気持ち良かったけれど、たいへんだったね。

※親床=たばこのたねをまくところ